市報
平成8年
12月1日
第1553号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口 〈10月末現在〉

人口	486,001人	(+413)
男	236,248人	(+253)
女	249,753人	(+160)
世帯数	179,083	(+382)

住民基本台帳による。( )は前月比

坂井輪 地区事務所が移転
地域保健福祉センターも併設

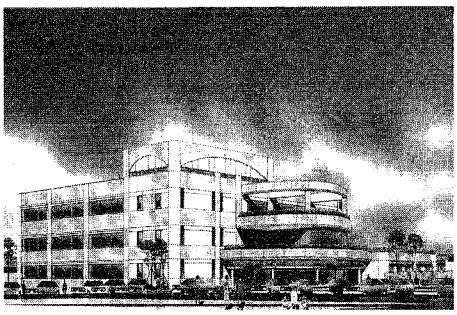
市では、市民サービスの向上と駐車場の混雑の解消を図ろうと坂井輪地区事務所の移転新築とともに、地域保健福祉センターの建設計画を進めています。今後は、十二月議会の議決を経て本体工事に着手し、平成十年の完成を目指します。

同地区事務所と新設の地域保健福祉センターを備える新しい施設は、坂井輪農協跡地（寺尾東三）に建設され、従来の地区事務所の業務とともに、保健と福祉サービスなどを提供し、市民サービスの地域拠点となる施設です。また、駐車場については六十一台分を確保。現在の施設で不便をかけている車の混雑の解消を図ります。

敷地面積は約二千七百平方㍍、延べ床面積約千九百七十平方㍍で鉄筋コンクリート造り三階建て。一階に地区事務所の窓口と地域保健福祉センターの事務室などが配置されます。これにより福祉サービスの申請に住民票などの証明書が必要な場合でも同一施設で手続きをすることができるようになります。

新設される地域保健福祉センターは、各地域で保健と福祉を一体とした在宅サービスを迅速かつ効果的に提供する拠点として整備を推進。センターには、保健婦・ケースワーカー・ホームヘルパーを配置するとともに、在宅ケアサービスの相談窓口を開設します。

なお、現在南地区事務所では、鳥屋野地域保健福祉センター（仮称）の増築工事が着々と進んでおり、来年四月に開設する予定です。


地域保健福祉センターと地区事務所の完成予想図

2面は除雪特集（計画路線図）
※3面に路上駐車の禁止などお願いを掲載

卓越した技術に栄誉
技能功労者30人を表彰

平成八年度の市技能功労者の表彰式が十一月二十日に行われました。業界の先駆者として活躍している、調理師や木工塗装工など、二十一職種の三十人をたたえました。

これは同一の職種に三十年以上携わり、卓越した技能を持ち、ほかの技能者の模範となっている人、または、その功績が顕著な人を表彰するものです。

受賞者は次の通りです。

（敬称略）

▽調理師 本間忠治（鐙西二）、五十嵐秀雄（牡丹山一）、渡邊久雄（上大川前通七）▽木工塗装工 古俣高男（五十嵐二の町）▽畳工 斎藤武雄（学校町通三）▽印判師 関本彰一（沼垂東一）▽自転車整備士 石山富栄（花町）▽看板工 野澤義夫（本町通一）▽写真師 西脇直（上所二）、渋谷純夫（東中野山三）▽時計修理工 山岸熊太郎（古町通三）▽屋根ふき工 笹川寅雄（上大川前通五）▽鍼灸マッサージ師 松本藤男（寺尾上二）▽理容師 高橋八十二（長者町）、野沢信次（江南幹雄（白銀一）▽電気工事士 江端幹雄（白銀一）▽浄化槽管理士 石井光夫（山木戸二）▽建築大工 高橋潔（上大川前通五）、佐々木修（本所）、高崎貞次（潟川）▽建具工 石山嘉一（松浜本町四）▽左官 宮下守（網川原二）▽建築板金工 熊谷清治（石山三）、関岩雄（出来島二）▽タイル工 佐野正輝（松浜新町）▽塗装工 小林良雄（天野三）▽配管工 倉島芳男（太夫浜新町二）、磯部勝美（東中野山四）、大泉勝（東中島一）▽洋服仕立工 本間平二（寄附町）

長谷川市長から表彰される野沢信次さん

水道局職員（大卒以外）を募集

試験日 （一次） 来年一月十二日
試験会場 市職員研修所（水道局内）
職種 事務・土木
受験資格 昭和五十年四月二日から昭和五十四年四月一日までに生まれた人
試験内容 （一次） 事務は筆記試験（教養）と適性検査。土木は筆記試験（教養・専門）と適性検査
申込期間 十二月二日から十六日までの午前八時半から午後五時十五分（土・日曜日は除く）※郵送による申し込みは十二月十六日の消印有効です
試験案内・申込用紙 水道局総務課（関屋下川原町一―三―三☎266・9311）で差し上げます。※郵送を希望する場合は、返信用封筒（あて先を記入し、八十円切手を張る）を同封し、請求する封筒に「案内請求」と明記してください

申し込みはあす2日から

観光カレンダー 100人にプレゼント

市では、全国に本市の観光資源を紹介しようと、観光カレンダーを作成しています。

平成九年度版のテーマは「にいがた六景」です。万代橋や本町市場のイラストで、本市の魅力を紹介。四季の情景を、暖かみのある風景画と詩で表現したものです。

このカレンダーを百人にプレゼントします。

申し込み 十二月六日（必着）までに住所、氏名、年齢、性別を記入し、観光物産課（学校町通一―六〇二―一☎内線2513番）へ。

※応募多数の場合は抽選、当選発表はカレンダーの発送をもってかえます

この道一筋 61

漁師 青柳 一男さん（64歳、赤塚）

佐潟を見つめて46年

「小さいころから魚釣りが大好きで、腕では誰にも負けなかった」と自負する青柳さん。コイ、フナ、ライギョなどが捕れる佐潟で、毎年冬になると漁を始めます。

十六歳で赤塚の農家（奉公に。その農家が佐潟の漁を取り仕切っていたことから、見よう見まねで始めました。自分で研究を重ね上用したもの。泥の中にもぐっている魚の居場所を舟の上から見分け、それをかぶせて捕ります。「引き網と違って魚の見分けかたと腕が必要だね」と言います。

「漁に出ると、潟にもぐってバスを採る光景が見られた。今ではなつかしねえ」とボソリ。白鳥が飛来し、地元に愛されている佐潟が、ラムサール条約に指定されたことについて「世界に知られるということは非常にうれしい。自然を大切にしながら、佐潟でこれからも漁を続けたい」と語ります。

18歳の時から漁をはじめ、地元では「とっこう名人」と呼ばれている。佐潟では年末から春先まで、育柳さんの姿が見られる。

「とっこう」と呼ばれている高さ一・五㍍ほどの円すい形の網を使用したもの。泥の中にもぐっている魚の居場所を舟の上から見分け、それをかぶせて捕ります。「引き網と違って魚の見分けかたと腕が必要だね」と言います。

「漁に出ると、潟にもぐってバスを採る光景が見られた。今ではなつかしねえ」とボソリ。白鳥が飛来し、地元に愛されている佐潟が、ラムサール条約に指定されたことについて「世界に知られるということは非常にうれしい。自然を大切にしながら、佐潟でこれからも漁を続けたい」と語ります。

12月定例市議会、4日から開会
一般会計補正予算など提案

十二月定例市議会が今月四日から二十日までの十七日間の日程で開かれます。

提案される議案は一般会計、土地区画整理事業会計などの補正予算、条例の制定、契約の締結など二十三議案と諮問の一件です。

補正予算は緑の田園整備モデル事業や、特定優良賃貸住宅建設の助成などを追加するものです。条例では、来年四月に開館予定の西新潟市民会館の利用と管理を定める条例の制定などが提案されます。契約の締結では坂井輪地域保健福祉センター（仮称）および坂井輪地区事務所の建設工事などが上がっています。

継続審査になっていた平成七年度の一般会計と特別会計の決算認定も会期中に採決される予定です。

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）

テニスガーデンにいがた…276-8900
園芸センター…286-1034
水道局…266-9311
市民病院…241-5151
東保健所…243-5311
石山地区保健センター…286-4450
鳥屋野地区保健センター…285-2373
北地区保健センター…259-7332
西保健所…266-5171
西地区保健センター…262-3405
坂井輪地区保健センター…260-3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）
急患診療センター…228-2822
休日歯科診療センター…283-3030

美術講座「聖書の美術」

日時 12月19・20日午後1時半～3時（2回コース）
会場 市美術館
内容 聖書の美術についての話
定員 100人
参加費 1,000円
申し込み 12月12日（必着）までに往復はがきに講座名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入し会場（西大畑町5191-9☎223-1622）へ ※応募多数の場合抽選

「1997年版県民手帳」を頒布

最新の統計資料や市民生活に役立つ便覧などを収録した県民手帳を頒布します。

価格 400円
表紙 青緑色と薄茶色の2種類
頒布期間 あす2日から12月27日まで
頒布場所 総務課（市役所本館4階）、地区事務所
問い合わせ 総務課（☎内線2117番）へ

坂井輪図書館 読書会

日時 十二月十一日午前十時～正午
会場 坂井輪地区公民館 ※読んで参加ください
テーマ図書 「留学」遠藤周作著（新潮文庫）
問い合わせ 同図書館（☎2260・3242）へ